

おい書館 No. 32

請願

石塚沢に

三月十五日、教育民生委員会が開かれ、十二月から継続となっていた私たちの請願が審議されました。尚、湯浅議員は教育民生委員になった時、紹介議員を下りました。

討議概要

森委員長・請願について執行部としては？

館長・特にない。

小沢委員・十二月に取り扱いを

正副委員長に委任したが、経

過を説明してほしい。

委員長・「正副に委任」という

のは委員会の決議ではなかつ

たが、紹介議員四名及び「お

い図書館」の意見を聞いた結果、

取り下げないことになった。

湯浅委員・図書館については新

総合計画に入るといふが、才

四才才五才五ヶ年計画に入っ

ていたはずだ。新図書館、今

後の図書館行政についての調

査・審議内容、準備会につい

て館長にたずねたい。

館長・新総合計画とはつきり言

たかどうか疑問だ。

湯浅委員・はつきりとそう言った

教育長・才四才才五才と新総合

計画とのつながりははつきり

しないが、積み残しの生涯学習

センター！図書館美術館音楽ホール

など全部早く作りたい。その

為の勉強もしている。用地、

財源が極めて厳しいが、なるべく早くやらせてほしい。これまで経過から言つて、やめますとは言えない状況だ。



館長・新図書館のイマジは、平成八年十月から担当して内部

からの改革は老分やってきた

つもりだ。五十万都市に相応

しい図書館として合計二万

ほしい。果立西部図書館、十

八分館と和名ヶ谷があるの

新図書館には一千万ほしい。

用地は都市計画から言つて、

どこと断定できなない。蔵書は

百万冊ほしい。明かるく優し

く、年寄りから子供までが利

用地取得について

用できる所、子供たちの遊におはなレキヤラバンや市民が活動できる場にした。家庭からインターネットで利用できるように思うが、具体的には難しい。一日中図書館に居たいという雰囲気作りをしたい。詳しくは時間がないので省く。

市民参加型の図書館作りをしたい。利用者には利用者の役割がある。用地取得の見込がきたら、準備会を作りた

い。
 湯浅委員：構想を具体的に作る過程で市民の意見をを入れてほしい。用地取得とは別に構想はできるはずなので、早く着手してほしい。



ついで

湯浅委員：土地の件で千葉の大蔵省関東財務局へ行つて来たが、もう一つの団体はかなり活発に動いているようだ。市民側に用地取得の要求があることを伝えているのか。土地についてオ一の権利は自治体にあると思うが、松戸市は熱意が足りないと思う。

企画部：大蔵省関係分析所蔵を図書館用地として進めたい。そのことは大蔵省に伝えてあると理解してほしい。

教育長：ソフト面の構築は可能だが、用地の広さによる。湯浅委員：その為に準備会を作つてほしい。『おーい図書館』の会報を誌んで、財務局は市

民の熱意をわかってくれた。松戸市としても積極的に働きかけてほしい。

企画部：自治体に土地取得の優先権があるのではなく公共性があるかどうかだ。どちらにより多く公共性があるかの判断は大蔵省はしていない。地元とよく話し合つてほしいということだ。

教育長：調査費や準備会は相当の手配ができてからのことなので、今はその段階ではない。

湯浅委員：調査費に対する考え方は違う。用地の件は今後も見つめさせよう。

(次頁につづく)



最後に

沢間、草島、湯浅各委員

「進めて行く」という委員会として
しての決議をした上で採択し
てほしい」等発言。

松崎委員…継続審議を提案。

元橋委員…まず用地取得を優先
させた上で計画の

促進を期待する。



継続審議に賛成は一名。次に採
決に移り、採択は四名(湯浅・
沢間・草島・山口)と、請願は
不採択と決定した。

更に

湯浅委員…委員会として、計画
を促進するという決議はとき
ないのか?

委員長…全会一致とできるよう
な提案ならよろしい。

小沢委員…それは次回に向けて
ということ。

湯浅委員…計画を促進する方向
性を持ったということとよろ
しいですね。



以上のような経過と、残念な
がら私たちの請願は不採択に終
りました。しかし、この活動を
通じて様々なことが見えて来て
収穫は大いにあると思えます。
明確な理由もないままに否決さ
れてしまうという行政・議会の
不可解さを見せつけられました
が、図書館問題に一石を投じた
ということと、取り下げること
なく請願を出し続けた意味はあ
ったと感じました。

尚、平成八年三月二十九日付

松戸市議会議長元橋スミ子名で
市議会事務局より「おーい図書
館」宛に、次の通知が届きまし
た。これは私たちに「おーい
状」にも等しいものと思っても
よいのではないのでしょうか。

(青木和子)



山田

松議議第99号
平成8年3月29日

青木和子様

松戸市議会議長 元橋スミ子

請願の審査結果について(通知)

平成7年11月27日付けで提出された下記の請願は、
平成8年松戸市議会3月定例会3月28日の会議に
おいて、不採択となりましたので通知します。

記

平成7年度請願第7号 中央図書館建設に関する請願

あとがき

図書館を創る活動に

してゐるならと言つて効

なひみが送つてくれた冊子に

浪江さんの文が載つていました。

浪江さんは、一九三九年私立鶴川図書

館を開設し、六四年に町田市民とし

て市の図書館運動を創り出した方

です。六五年に日野市に「本もの」の

図書館が出来、近隣四市に図書館

革命が起きたと言、ます。これは

「中央省庁の指導など全く無関係に

住民と自治体と図書館人の力で進

められた注目すべきこと」と書かれ

ています。市区町村民が主権者に

育つていくことに深くかわつて

いるのが図書館であり、図書館運

動なのだ」とあり、この言葉をか

かして、又出発したいと思ひます。

(橋村光成)

発行おのゝ図書館

連絡先 青木和子

松戸市奉合ハニオ一六〇

〇四七三(六七)五三八四